

おいしく、
ひといき。

食べる、楽しむ、人いきいき。

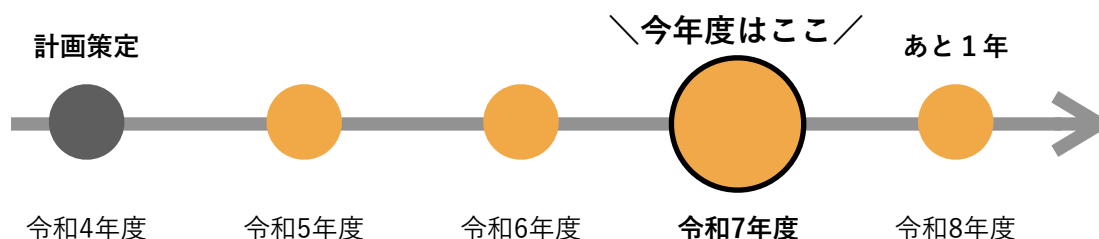
いちき串木野市
食のまちづくり基本計画
第2期

アニュアルレポート
2025

いちき串木野市は平成21年に食のまちづくり条例を制定し、平成23年には10年間を第1期計画期間とする「いちき串木野市食のまちづくり基本計画」を定め、官民協働による食のまちづくりに取組んできた。第2期の策定にあたっては、社会情勢を踏まえながら、第1期計画に対する課題の整理・検討を行ったうえで、ビジョンを明確化し、市民・事業者・行政がそれぞれの立場で主体的に取組める施策を検討。市民一人ひとりが主役になれる「食のまち」、地域の取組がシティプロモーションに繋がる「食のまち」、未来を担う子どもたちがまちに愛着と誇りを持てる「食のまち」、を目指し、持続可能な食のまちづくりの実現に向けて取組を進めている。

計画の期間

令和5年2月（令和4年度）から令和9年3月（令和8年度）までの5年間とする。



計画の基本姿勢

基本計画策定・事業実施するにあたり、関係者が高い目的意識とモチベーションで携われるよう、基本計画のビジョン（目標）、ミッション（動機）、バリュー（行動指針）を定めている。

ビジョン(目標)

食を通して、経済の活性化と健康増進を進め、シビックプライドが高いまちを目指します

ミッション(動機)

いちき串木野市の食から活動を生み出し、市民の幸せと地元への愛着につなげる

バリュー(行動指針)

- ・活動をしっかり伝え、当事者意識を高める
- ・楽しいことや新しいことに挑戦する
- ・大事なことを絞り込み、ぶれずに進める

食のまちづくり基本計画(第2期)はこちらからご覧いただけます



本年度は、前年度の協議内容を踏まえ、各事業を具体的に展開した。パートナーシップ会議では、情報発信や地域を巻き込む企画をテーマとした勉強会を実施。参加者からの意見も反映しながら、事業の実効性を高めた。

また、こうした取り組みがメディアに取り上げられるなど、外部のリアクションもいくつか見られた。

分野：地域経済の活性化

1. 学校給食での地元食材の利用促進

担当：農政課、学校給食センター

市内の学校給食の地産地消率の向上を目指し、地域の生産者、市役所担当課等と連携した仕入れや補助制度の導入、期間限定の地元食材の利用など利用促進に向けた組織体制などを関係各所と検討していく。

① 学校給食への地元食材の活用推進

地元野菜・果物の使用率 令和7年度 14.5%（令和6年度 11.7%）

- ・市内農家との納入調整を行い、地元食材のスポット利用を促進

▶ 給食センターと献立に必要な野菜の数量等の打合せを行い、他の生産者への納入依頼と集荷作業を行い、給食センターに納品する体制ができた。
地元野菜・果物の使用量増加に努めた。

- ・市来農芸高校との連携も継続

② 地元産、県内産の食材を活用した献立の充実

- ・「鹿児島をまるごと味わう学校給食」等における地元食材メニューの提供

活動実績

2. 市民への地元食材の利用促進

担当：シティセールス課、農政課、子どもみらい課

スーパーや直売所など、市民が日常的に買い物を行う場所で、ポスターやポップなどを活用した地元食材の利用を促すPRを行い、地元食材の利用意識を高める。

① いちき串木野市産味平かぼちゃのペーストの活用促進

- ・関係各所協力のもと、ペーストの販売を実施

▶ 市内外の菓子店や飲食店で商品展開された

- ・サンプルをPRパートナーにも提供し、活用を促進

活動実績

3. 生産者の育成・確保と新規参入支援

担当：農政課、水産商工課

農業・漁業の担い手の確保を目指す。主にリクルートに活用できる広報素材（パンフレットなど）の作成を行い、水産系の教育機関などの関係者に対して周知。そのほか、国や県、市の補助制度などを紹介し、新規参入を検討する人たちにもリーチする。

① 認定新規就農者への支援

国や県の補助事業を活用（経営開始資金、設備投資など）

② 新規漁業就業者増加に向けた取組実施

新規漁業就業者への支援金給付や補助金についての周知説明活動

活動実績

4. 付加価値向上、販路開拓（海外、EC、新規出店）等の支援

担当：水産商工課、シティセールス課

地域内事業者の売上の増加を目指し、ECサイトの利用や海外への販路開拓、新規出店などの支援を行う。既存の商品に対する付加価値向上なども促す。

活動実績

- ① 飲食店新規出店促進事業補助金（実績：2件）
- ② 薩摩国広域輸出促進協議会の実施
- ③ トライアル輸出等助成金（実績：1件）
- ④ 6次産業化の取組支援（実績：6件）
- ⑤ 各種物産展等出展助成事業（実績：2件）
- ⑥ ECサイト「かごしまぐるり」と連携したPR・販売戦略



かごしまぐるり

5. 地元食材のブランディング

担当：農政課、シティセールス課

サワーポメロをはじめとした地元食材のブランディングを行う。ブランド認定や品評会の開催など、地元食材の品質向上、信頼性の確保に向けて実施。ブランド認知のための広報PRや生産者のトークイベント等も実施する。

活動実績

- ① サワーポメロの知事への贈呈
- ② サワーポメロフェアの実施
 - ・おいどん市場与次郎店にて販売。加工品の販売も実施。
 - ▶ 1kg 600円程度で販売し完売。
- ③ 文化庁100年フードに「つけ揚げ」が認定



知事表敬の様子



サワーポメロフェアの様子



分野：食育・健康増進の推進

6. 子どもたちへの教育

担当：社会教育課、学校教育課

家庭科、総合的な探求の時間などを活用し、未来の担い手となる子どもたちに食の重要さや地域の食に関する知識を提供。その他、生涯学習講座の一環とした食の体験メニューなども実施する。

活動実績

- ① 学校等教育現場での教育
 - ・食育の推進（全体計画や年間指導計画の整備等）
 - ・食に関する指導の充実（栄養教諭の活用と連携、家庭への働きかけや啓発）
 - ・給食指導の充実
- ② イベント等における食育の普及啓発
 - ・アドベンチャー in こしき島
 - ・青松塾「お菓子づくり」
 - ▶ 食生活改善グループに協力のもと「ねったぼ」を調理

7. 高校連携プログラム

担当：シティセールス課、水産商工課

市内の高校と商品開発等の体験学習プログラムを実施。高校生との食関連プロジェクトを取りまとめて周知する。

活動実績

- ① 市来農芸高校と商品開発等の体験学習プログラムの実施
規格外トマトを使用したアイスクリームで地域貢献
- ② 市制施行20周年いちき串木野産業まつり～地元まるごとフェス！～にて
高校生と地元企業が商品開発して販売
 - ・市来農芸高校×菊屋 ▶ 里芋アイス、トマトアイス（上記）
 - ・市来農芸高校×モン・シェリー ▶ かりんとう饅頭
 - ・神村学園調理科 ▶ パウンドケーキ

8. 食の職育プログラム

担当：学校教育課、社会教育課、水産商工課、シティセールス課

学校現場において食に関する市内の職業を周知。将来の職業選択の候補として食に関する職業を伝え、キャリア教育と結びつけながら、地域内事業者への就業にもつなげる。

活動実績

- ① まぐろ普及出前授業 8校
令和7年度から新たにVRを導入し、船上での漁の様子やまぐろの魚体をよりリアルに体験できるように実施。

9. 健康増進に向けた普及啓発

担当：健康増進課、子どもみらい課

生活習慣病予防、減塩対策、肥満対策等の普及啓発を行う。EAT de 健康メニューの周知やポップの掲示、生涯学習講座との連携などを実施し、市民の健康的な生活につなげる。子どもへの食事に関する情報なども広報誌や子育て応援ナビ、母子健康手帳などを通して周知する。

活動実績

- ① EAT de 健康メニューの実施
13店舗15メニューが認定（令和7年度末時点）
▶ 多いところでは400食程度提供
- ② 健康にまつわる情報発信
- ③ 食のまち教室（2回実施）
- ④ SNS(Instagram等)での情報発信



子どもみらい課
Instagram

分野：情報の共有と発信

10. 食のまちのイメージ共有

担当：シティセールス課、企画政策課

「食のまち」を伝えるためのイメージ動画、シンボルマークやキャッチコピーを作成し、周知。イメージ動画では、マグロ漁業、果樹栽培、焼酎製造、水産加工などの産業認知などにつなげる。

活動実績

- ① 食をテーマとしたPR動画の制作
テーマ：学校給食、郷土料理、パン屋、ダイジェスト版
- ② 「おいしく、ひといき」LINEクイズラリーの実施
応募者数：192名（うち景品当選者50名）
- ③ 食のまちプロモーションサイトの作成と運用



食のまち
プロモーションサイト

11. 食の楽しみ方開発と定期的な情報発信

担当：シティセールス課、企画政策課

食に関する地域の取組や地元の食の魅力を掘り起こし、本市の食を楽しむコンテンツも開発して発信する媒体を作成。地元の食と良いロケーション、それに深く関わる人などをつなげて発信することで、食材と場所の認知につなげていく。

- ① 本市の食をテーマとしたWEB記事(note)作成
 - ・年度内に12本の取材記事を作成
 - ▶ PRパートナーの方々にフォーカスして取材
 - ・広報誌とも連携して発信
- ② 公式LINEを活用した情報発信
- ③ 市民参加型広報活動の実施（市民ライターによる発信）

活動実績



公式note

食のまちストーリーズ Vol.21



「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの畑産から産出の食材まで、心が揺さぶられるおいしいものが身近にある。豊かな食文化を誇ります。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝き、まちにみんなが育てていきましょう。

「食」の紹介を通して、「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの畑産から産出の食材まで、心が揺さぶられるおいしいものが身近にある。豊かな食文化を誇ります。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝き、まちにみんなが育てていきましょう。

「食」の紹介を通して、「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの畑産から産出の食材まで、心が揺さぶられるおいしいものが身近にある。豊かな食文化を誇ります。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝き、まちにみんなが育てていきましょう。

食のまちストーリーズ Vol.22



「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの畑産から産出の食材まで、心が揺さぶられるおいしいものが身近にある。豊かな食文化を誇ります。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝き、まちにみんなが育てていきましょう。

「食」の紹介を通して、「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの畑産から産出の食材まで、心が揺さぶられるおいしいものが身近にある。豊かな食文化を誇ります。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝き、まちにみんなが育てていきましょう。

食のまちストーリーズ Vol.26



「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの畑産から産出の食材まで、心が揺さぶられるおいしいものが身近にある。豊かな食文化を誇ります。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝き、まちにみんなが育てていきましょう。

「食」の紹介を通して、「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの畑産から産出の食材まで、心が揺さぶられるおいしいものが身近にある。豊かな食文化を誇ります。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝き、まちにみんなが育てていきましょう。

食のまちストーリーズ Vol.31



「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの畑産から産出の食材まで、心が揺さぶられるおいしいものが身近にある。豊かな食文化を誇ります。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝き、まちにみんなが育てていきましょう。

「食」の紹介を通して、「食のまちづくり」に関連する情報を紹介します。「食」を通じて、いろんなことを楽しむ、いろんなことをやってみる。人がいきいきと輝き、まちが元気になる。それが「いちき串木野市 食のまちづくり宣言」です。本市は、海の味、山の味、こだわりの畑産から産出の食材まで、心が揺さぶられるおいしいものが身近にある。豊かな食文化を誇ります。この食文化をおいしく、楽しく味わいながら、人がいきいきと輝き、まちにみんなが育てていきましょう。

3

計画に関するアンケートの実施

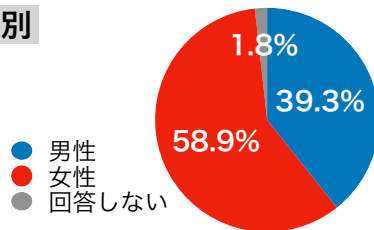
参考指標

アンケートやヒアリング調査等によって、本市の食のまちづくりに関して市民がどのように感じているかを捉える。本年度は公式LINEでのアンケートを実施し、現時点での市民の意識を調査した。

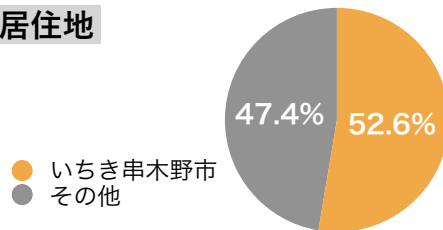
調査期間：令和7年2月24日(火)～3月10日(火)
 総回答数：397件(前年比72.7%)

あなたの属性を教えてください。

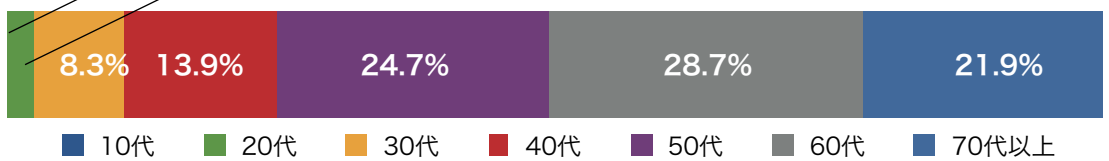
性別



居住地

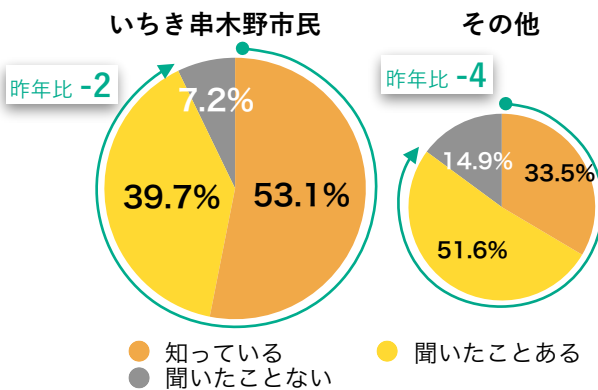


年代

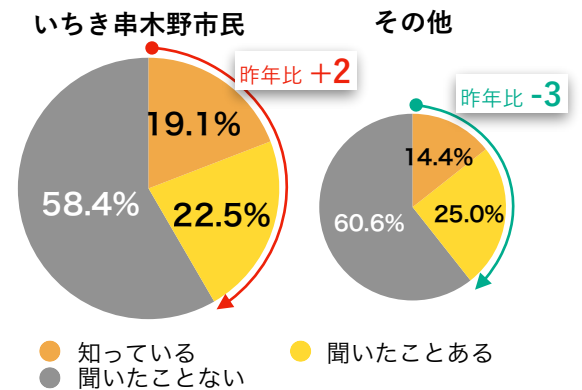


いちき串木野市で実施されている「食のまち」についてお聞かせください。

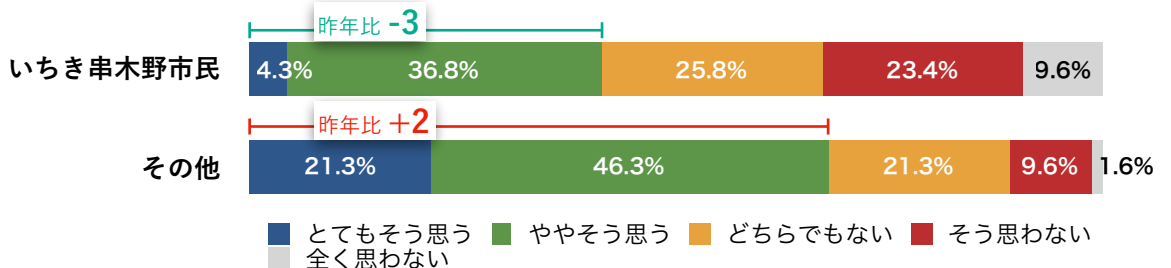
「食のまち」の取り組みを知っていますか？



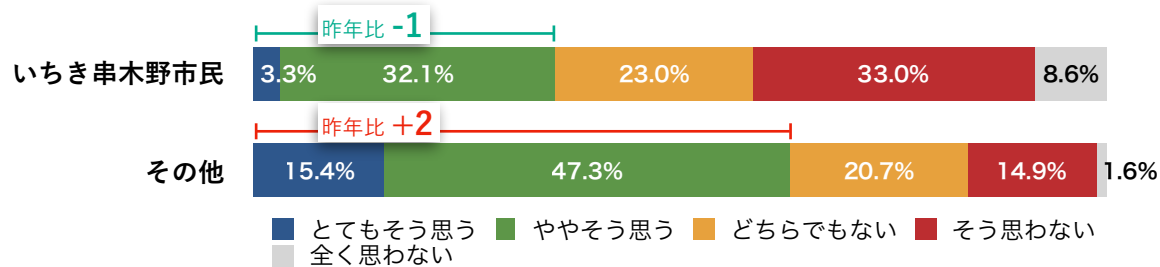
「おいしく、ひといき。」を知っていますか？



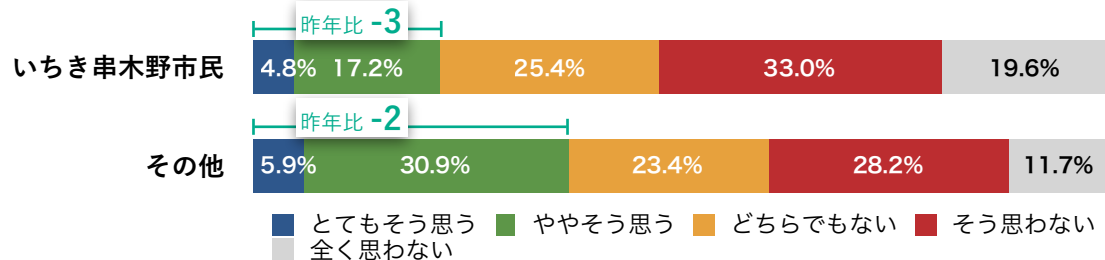
いちき串木野市は「食」をテーマににぎわっており、活性化していると感じますか？



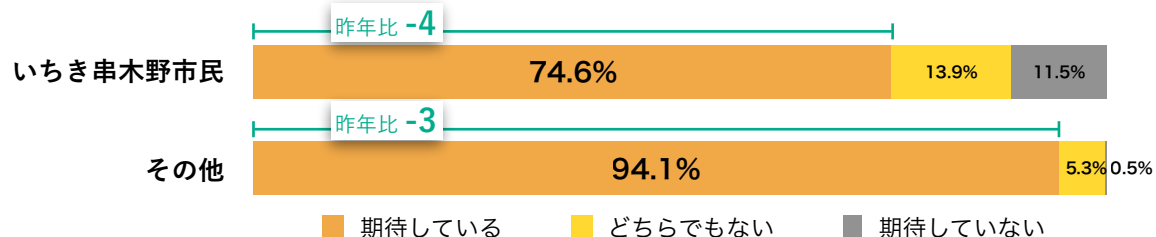
いちき串木野市は「食」をテーマに商業が活性化していると感じますか？



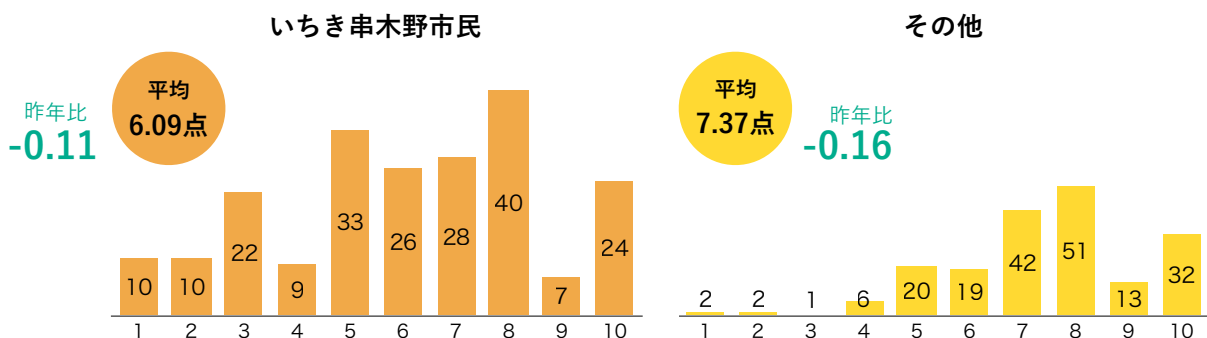
「食のまち」に自分も関わっていると思いますか？



今後の「食のまち」の取り組みに期待しますか？

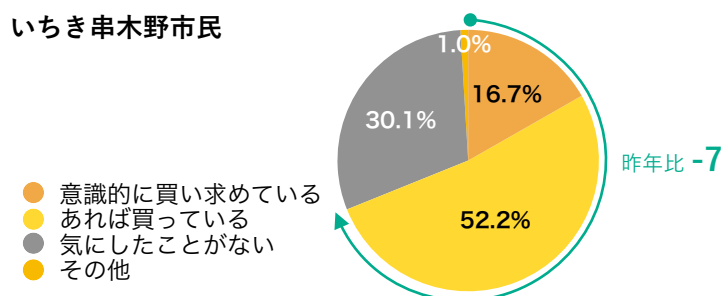


あなた自身、どれくらいいちき串木野の「食」のファンですか？（10点満点中）

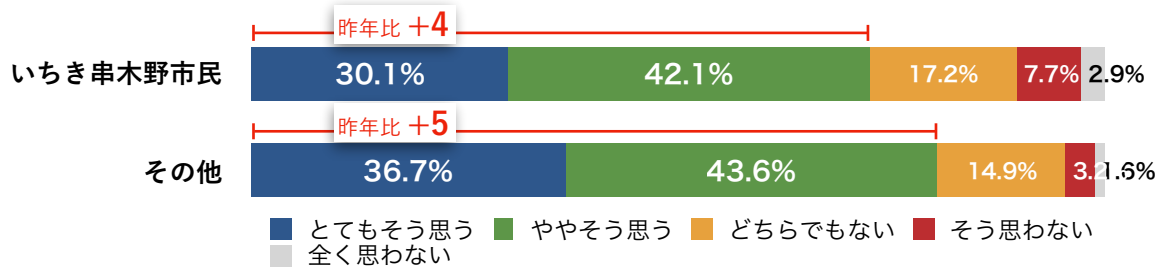


あなたの「食」に関する意識についてお聞かせください。

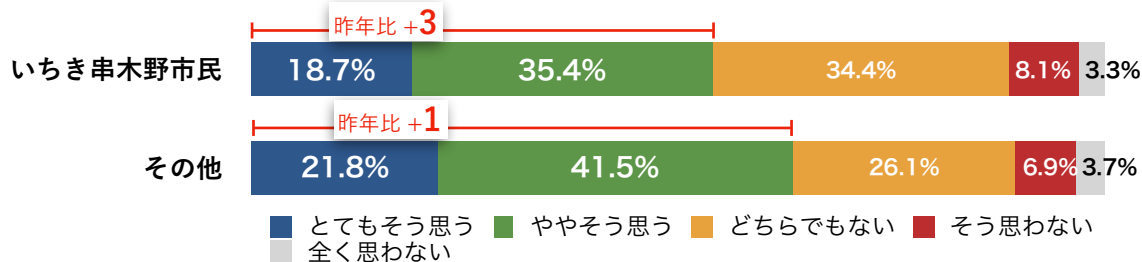
買い物をする時、いちき串木野産の食材を意識して買っていますか？



「食」を通じた健康づくりを意識していますか？

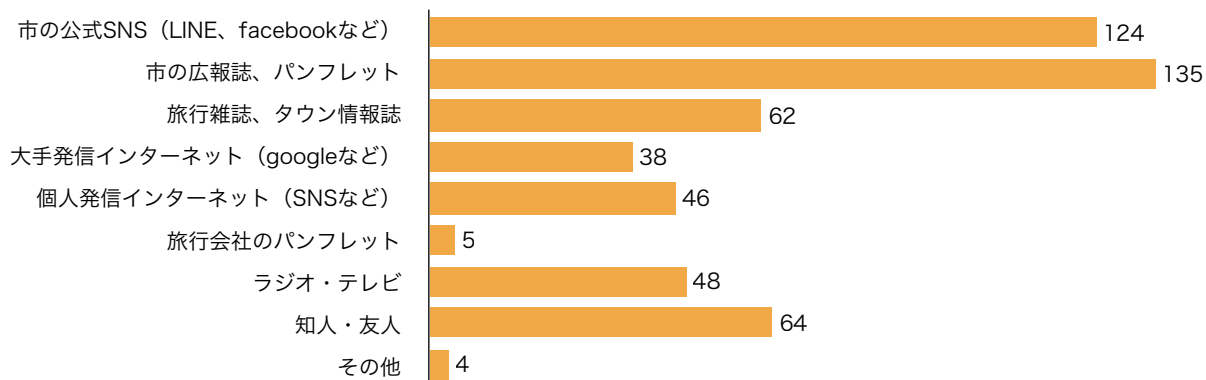


「食」に関する職業に関心がありますか？

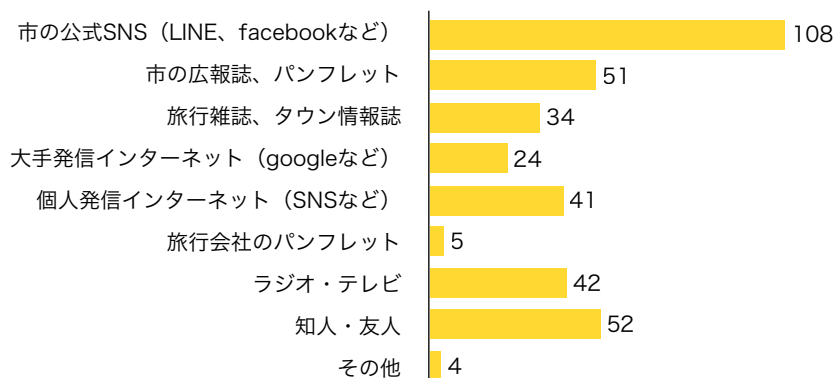


いちき串木野市の「食」に関する情報を収集する際、何が役に立ちますか？（複数回答・可）

いちき串木野市民



その他



基本計画を推進するにあたっては、多くの事業で複数の部署との協力・連携が必要となってくる。また、市、市民、事業者が連携する事業も存在し、官民が連携しなければ実現できないものも含まれる。そこで、部署横断、官民連携を調整する「パートナーシップ会議」や「庁内会議」などを設置し、予算化に向けた意見交換や工程共有、勉強会などを行った。

パートナーシップ会議の実施

活動実績

① 市、市民、事業者が一堂に会して4回のパートナーシップ会議を実施

- | | |
|----------------|---------------------|
| 1回目：令和7年7月2日 | 年度内事業の方向性を提示 |
| 2回目：令和7年10月27日 | 勉強会（オリーブ生産とブランディング） |
| 3回目：令和7年12月8日 | 見学会（学校給食センター） |
| 4回目：令和8年1月26日 | 勉強会（食とスポーツ） |
| 5回目：令和7年3月28日 | 勉強会（食育・郷土料理）＋事業実施報告 |

▶ 各回で参加者間の意見交換も実施

食のまちPRパートナー

食のまちPRパートナーとは、本市の「食」や「食によるまちづくり」に関心がある方で、市と一緒に「食によるまちづくり」を推進していく市民、事業者のこと。個人でも団体でも登録が可能。現在42の個人と団体が登録している。（令和7年3月26日時点）

<登録者（団体）>

池之上果樹園／イシマル食品(有)／いちき串木野市観光特産品協会／いちき串木野商工会議所／いちき串木野商工会議所青年部／いちき特産品販売所「季楽館」／市来えびす市場／市来商工会／市来農芸高校農業クラブ／稲葉 豊実／(株)オービジョン／NPO鹿児島いちき串木野観光物産センター／(有)菓子処 菊屋／加世田 俊子／潟永 朋弘／神村学園高等部／川崎 幹也／キッチンいまり／串木野高等学校／串木野市漁業協同組合／くしき野白浜温泉 みすまの湯／桑木 米美／ケントコーヒー／五嶋農場／小林 史和／塩田 亜耶子／旬彩とど家／白橋大信／新洋水産(有)／富永 裕介／西果樹園／(有)浜崎蒲鉾店／濱田酒造株式会社／日高水産加工(有)／吹上浜フィールドホテル／ホテルアクシアくしきの／森の蔵農園／山田 優子／吉村醸造株式会社／合同会社Le Ciel Fusee／和田 雅子（五十音順）



いちき串木野市 食のまちづくり基本計画 第2期
アニュアルレポート 2025
発行：令和8年3月